



幸田町長
おすか いっせい
大須賀 一誠

新年明けましておめでとうございます。
います。

町民の皆様には、健やかに新年
をお迎えのことと、心からお慶び
申し上げます。

昨年を振り返りますと、幸いに
も本町には大きな災害もありません
でしたが、全国的にみまると、
常総市の鬼怒川決壊など自然の猛
威を再認識した年でありました。
そうした中、本町の取組みとしま
しては、菱池遊水地の整備に向け
継続して進めることと、河川の
増水状況や道路の冠水状況をリア
ルタイムで確認できるよう防災力
メラを設置し、町民の皆様にも情
報提供できるように準備しておりま
す。

また、安心して暮らすためのも
う一つの課題、防犯面でございます。
昔は、「お天道様が見てるぞ」と
と悪い心を戒めていたものです。
今、一番大切なものは、「地域の目」
「犯罪を許さない町民の目」でありま
す。本町におきましては、各「コミュ
ニティ」を中心に積極的に地域の目
を光らせていただいています。町
としても、地域の目を補完す
る防犯カメラの設置とともに町を
明るくする三千七百基余りある防
犯灯のすべてをこの三月までにし
ED化してまいります。LED化
により二酸化炭素の削減や電気料
金が節減も図ってまいります。

昨年は、広域行政の進んだ年で
もありました。本町が持続可能な
まちであり続けるため、効率的な
行政運営を図らなければなりません。
町民の生命、健康に対する取
組みをより高度に、より効率的に
行うため西三河南部東を圏域と
し、大学病院の誘致、子ども発達
支援、消防通信の共同運用など広
域的な取組みを進めてまいります
た。そして、かねてから蒲郡市と
幸田町が共同して建設しています
新斎場がこの七月に完成する見込
みでございます。

また、昨年、島原藩主深溝松平
のふるさとであります本町に、島

原市長をはじめ百名の訪問団をお
迎えいたしました。参加された島
原市民の皆様からは、「幸田町の
皆さんの大歓迎に感動しました。」
「以前から知り合いだったような
気がする。」など、うれしいお言
葉をお聞きしています。島原と本
町の歴史的なつながりをより強固
なものにし、両市町の発展につな
げる所存でございます。私も今年、
町民の皆様と一緒に島原を訪問し
たいと思います。



▲島原市友好親善訪問団歓迎式

昨年七月、ものづくり産業の持
続的発展をめざし「幸田ものづく
り研究センター」を開設しました。
西三河地域の強みであるものづく
りに対する支援を、産業界・金融
機関・行政・大学が連携し、次世
代新産業の創生をめざし地域もの
づくり産業全体の振興を図ってま
います。

本町も人口4万人まであとわず
かとなりました。全国的に少子高

齢化が急速に進む中、本町は幸い
なことに相見駅周辺や岩堀・六栗・
深溝の区画整理により若い世代の
流入で着実に人口が増加していま
す。しかしながら他市町と同様に
高齢化も同時に進んでいます。

将来を担う子どもたちを支援
し、健やかに夢を育む施設とし
て、児童館の整備や幸田小学校の
増築、そして、既存児童クラブの
拡充に取り組んでまいります。



▲幸田小学校南棟の完成イメージ図

本年は、第六次幸田町総合計画
のスタートの年となります。将来
像は、「みんなで作る元気な幸
田」であります。これからも皆様
のご意見やご提言に耳を傾け「愛
のある幸せなまちづくり」に邁進
してまいります。

本年も町政への変わらぬご理
解、ご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆様のご
健勝とご多幸を祈念し、年頭のご
あいさつといたします。